

負ける喧嘩



東郷 潤

あるところに、強い奴と弱い奴がいます。



時々、強い奴は弱い奴に命令します。

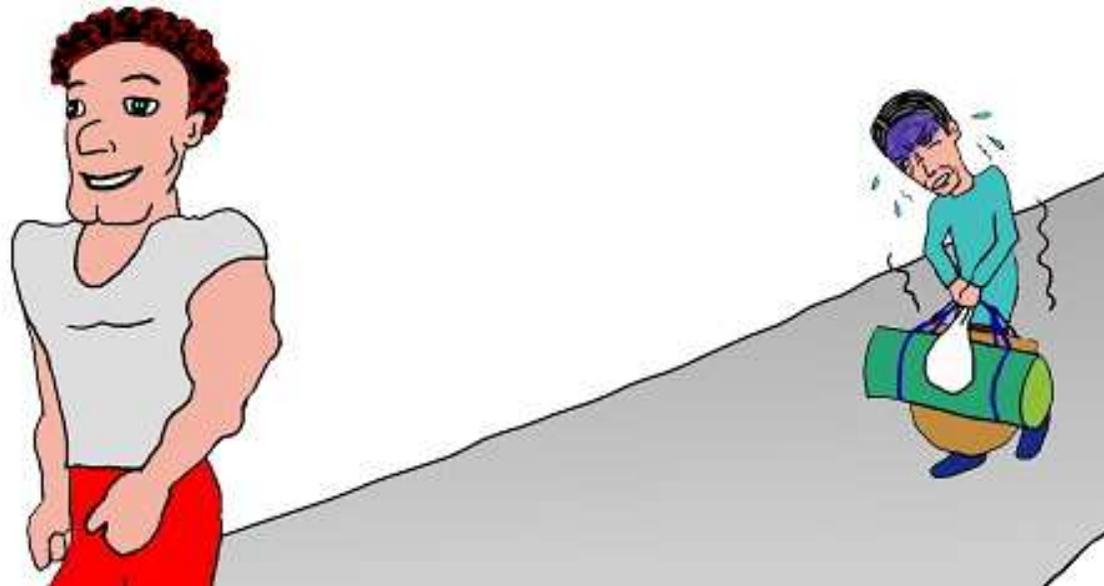


弱い奴は、むっとしました。なんでそんなことをしなければいけないのか？ でも・・・、逆らったら喧嘩になるかもしれません。喧嘩になったら、勝ち目などありません。





弱い奴は命令に従いました。これでもう喧嘩になることはありません。



ある日のことです。また強い奴が弱い奴に命令しました。



弱い奴は、むっとしました。なんでお金を取られなければいけないのか？ でも・・・、逆らったら殺されるかも知れません。負ける喧嘩をするのはバカだけです。





これでもう殺される危険はありません。



ある日のことです。友達とお喋りしている弱い奴に、強い奴が命令しました。



弱い奴は、むっとしました。なんでこいつのトイレ掃除をしなければいけないのか？ でも…、逆らったら殺されるかも知れません。命は何よりも大事なのです。





これでもう負ける喧嘩をすることはありません。



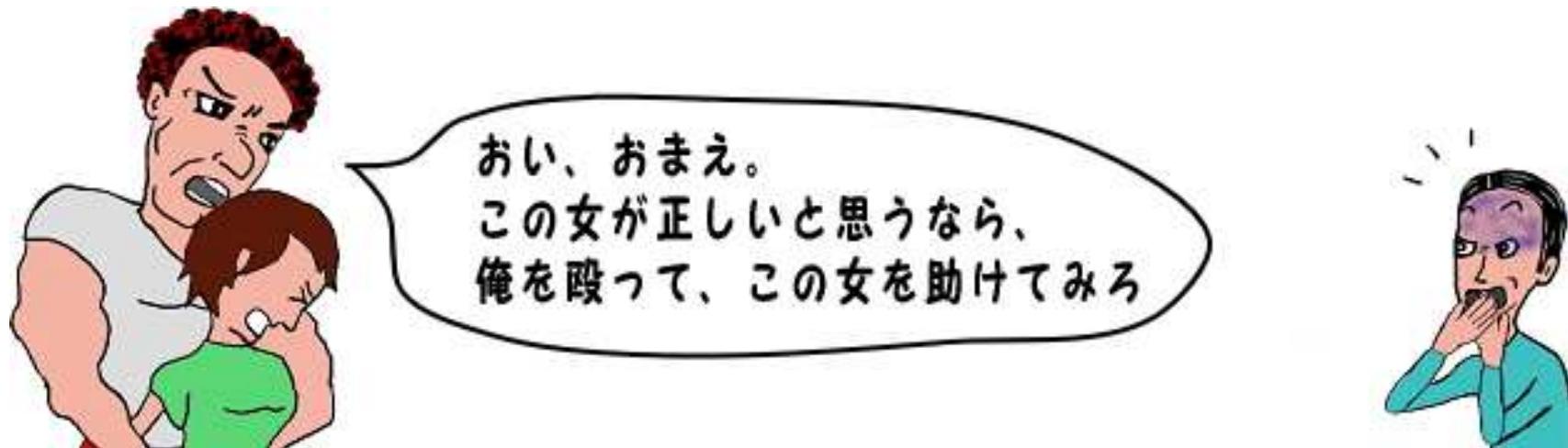


突然、弱い奴の友達が、強い奴に食って掛かりました。





強い奴は、彼女を羽交い絞めにしました。





弱い奴は、むっとしました。なんで自分をかばってくれる友達を殴らなければいけないのか？ ……でも、命は何よりも大切です。負ける喧嘩をしてはいけません。弱者は強者には、逆らえません。それは仕方が無いことなのです。





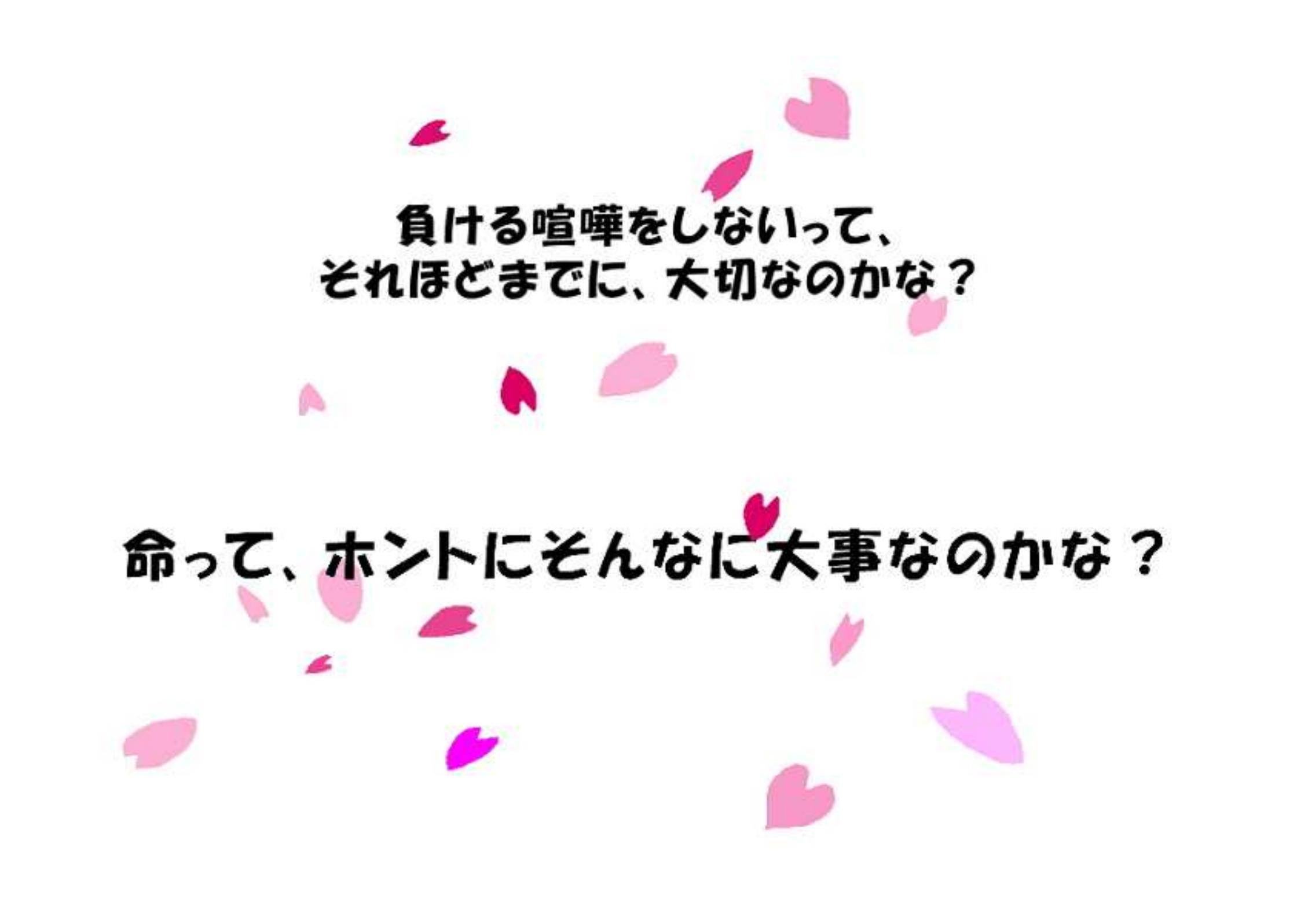
これでもう殺されることはありません。



ほらもっと
強く！



ねえ、君。なんだかとても辛そうだね。



**負ける喧嘩をしないって、
それほどまでに、大切なのかな？**

命って、ホントにそんなに大事なのかな？

あとがき 一絵本「負ける喧嘩」

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2012